



二〇〇三年度予算要望書提出

浪費・ため込みやめ 福祉増進を区政の柱に

党区議団は十月三日、原田敬美区長に「望書」を提出し、来年度予算に反映させ



区議団を代表して予算要望を行う風見区議(正面右)

当初予算に対する要望書を提出し、来年度予算に反映させるよう交渉しました。交渉には七名の区議団とくぼた光前都議が参加しました。風見区議団長は、深刻な不況、リストラ、賃下げの中で、原田区長は、「区民生活に対する思いはみなさんと同じ」「福祉関係の幹部には、はっぱをかけている」と述べ、「要望書については各部署に検討させる」と答えました。

豊かな財政を区民のために

決算における実質収支(黒字額)

1991年度	36億7千万円
1992年度	30億3千万円
1993年度	27億7千万円
1994年度	24億8千万円
1995年度	20億9千万円
1996年度	17億8千万円
1997年度	22億8千万円
1998年度	31億4千万円
1999年度	24億2千万円
2000年度	72億3千万円
2001年度	41億2千万円

2001年度決算時点での積立金

基金合計 671億円

<主な基金積立額>

財政調整基金	187億円
減債基金	74億円
公共施設等整備基金	223億円
定住促進基金	37億円
教育施設整備基金	28億円
震災対策基金	23億円
公共用地買収基金	40億円

(千万円未満は切捨て)

第3回 定例会

風見区議 区民要求実現に奮闘

九月十九日から十月九日まで定例区議会が開かれる

今区議会は、〇一年度の決算審議が行われまし

た。風見区議をはじめ七名の議員団は、日頃みなさんから寄せられている要求実現めざし質問しました。

今回のニュースは決算委員会などでの党区議団の質問の中心点を報道します。



決算委員会で質問する風見区議

- 〔決算委員会での風見区議の主な質問項目〕
- 〔審査意見書〕
- * 豊かな財政を区民のた
- 責任で
- 〔環境・清掃費〕
- * ゴミ減量のために事業者への指導強化を* ペットボトルの回収は製造者と。
- 〔総務費〕
- * 青山墓地への避難路確保
- 〔土木費〕
- * 青山一丁目から信濃町間の歩道に街灯の設置を
- * 家賃助成の継続を
- 〔教育費〕
- * 学校選択希望制の四月実施は白紙に
- 〔介護保険会計〕
- * 保険料の値上げはやめよ* ホームヘルプサービスの三%負担を継続すること。
- 港区独自でも継続すること。
- 〔民生費〕
- * 青山福祉会館の雨漏りの完全改修を* 出産祝い金を

赤坂六丁目の特養ホームが来年五月にオープン

申し込み受付中

党区議団が機会あることに要求している。旧氷川小学校跡地の特養ホームが来

年五月にオープンします。現在入所者の申し込みを受け付けています。

資格：在宅で要介護度 以上で常時介護が必要な方。

申込書：在宅サービスセンター、赤坂支所、電話すれば郵送もします。

受付期間：十二月二七日(消印有効)までに赤坂六丁目施設開設準備室に郵送。

郵送先：港区虎ノ門三ー十五ー四 愛宕敬老館四階赤坂六丁目施設開設準備室 五七三三ー五〇五七

五月にオープンする(仮称)赤坂六丁目特養ホーム



青山小学校で運動会

9月22日、前日の雨がウソのような青空の元で青山小学校の運動会が行われました。汗ばむほどの陽気の中、子ども達は各競技に全力で取り組む姿に、観客席から盛んな声援が寄せられていました。

未就学児による「山あり谷あり」では、トンネル前たじろぐ姿もありましたが、お母さんや青小の生徒に励まされ、ゴールまでがんばる姿はほほえましいかぎりでした。

なんでも相談会

毎月第3月曜日 午後6時30分より 青山福祉会館 2階講習室Aを予定

事前にご連絡いただくと幸いです。 連絡先...風見宅 3405-9294 控室 3578-2945

カーブミラーがつけました



南青山2丁目29番地先にカーブミラーが設置され喜ばれています(写真)。ここは私

道から外苑西通りにでる所で、見通しが悪い上に青山通りからの下り坂のため自転車がスピードをセーブしづらい場所です。

風見区議のところと近隣の方から、事故が起きかねないので「カーブミラーを」との相談が寄せられ、風見区議が港区の関係課と相談、東京都第二建設事務所が現地を調べ、早速カーブミラーが設置されました。



少子化対策は世代をこえた区民の願い

子どもは社会の宝 新生児に出生祝金を

風見区議は、新生児の出生を祝い、港区共通商品券を活用し、「出生祝金を支給する」よう質問しました。少子化は大きな社会問題です。とりわけ港区の合計特殊出生率は全国・東京都平均よりかなり下回り、昨年度で〇・八五と深刻です。区の調査でも就学前児童

保護者の「子育ての経済的負担感」についての質問に対し「かなり負担に感じる」十八・四%、「どちらかという負担に感じる」二十八・五%との結果のように子育てへの負担を強く感じています。

担当課長の答弁は、「出生祝金については考えていない」というものでしたが、こうした制度も含め、抜本的な少子化対策が必要です。

青山墓地への避難路確保を

風見区議は、南青山四丁目、西麻布二丁目側から青山墓地への避難路になる外苑西通りが中央分離で分断されてしまっていることを示し、避難路確保のため、



避難階段に行くのに分離帯の柵がじゃまになる

「中央分離帯の柵の改善を東京都に要請するよう」質問。担当課長は「東京都へ改善策を要請する」と答えました。

党区議団と住民の運動で青山墓地への避難階段が設置され、ガードレールもはずせるようになりました。ところが、外苑西通りの中央分離帯の整備で植樹体の中に柵が設置され、この柵を超えて避難することは困難になっています。

青山福祉会館の雨もり改修と敬老室の冷房の改善を

風見区議は、青山福祉会館の雨漏りと敬老室の冷房について、「大至急、抜本的な対策、修繕を行うよう」質問しました。担当課長は「補修工事については、必要性や緊急性を勘案し、十五年度予算に盛り込んでい



児童遊園などに安全な遊具の設置を

風見区議は、国土交通省の指導指針やアメリカやヨーロッパの安全基準を参考に、児童遊園などに「安全な遊具を一日も早く設置すべき」と質問。担当課長は「子供と保護者、地域住民に親しまれるよう努める」と答えました。

「と答弁しました。青山福祉会館はロビー天井の明り取りから雨漏りし、一度大規模な修理をしました。最近又、雨漏りするようになりバケツで受ける事態で、利用者がすべらないよう、職員は大変な思いをしています。事故が起きないよううちに対処することが必要です。また、敬老室の冷房がきかず、利用者は、今年の夏大変な思いをされました。」

小・中学校への入学支度金支給の条例、重度要介護高齢者手当条例を議員提案

党区議団は、小学校、中学校に入学する世帯に、港区共通商品券を利用して、入学支度金を支給する条例を提案しました。

区立中学校に入学の際、制服や運動着等々で最低でも6万円から7万円もかかります。小学校でも入学式の支度、ランドセル、学用品や机等々、多額の費用がかかり、父母にとっては大きな負担です。

重度要介護高齢者手当条例は、要介護で住民税非課税者に、介護サービスを受ける一助として手当を支給するものです。

また、住基ネットに関連して個人情報保護条例の一部改正を議員28名で提出しました。

区民まつりの送迎バスはなくすな!

区は、大江戸線の開通により交通の便が解消されたことなどを理由に、送迎バスをなくそうとしています。

風見区議は、九月九日に開かれたふれ文健評議員会でも「送迎バスの廃止はやめるよう」求めました。

この間危険な遊具の質問をする中で、危険な箱ブランコは撤去されましたが、その後の対策がありません。アメリカでは公共の遊び場にある遊具の安全基準、転落しても頭部に致死的外傷を負わない構造、衣服などがひっかかって致死的な首つり状態にならない構造、捕捉が起らない構造、明らかに危険であることがわかって遊具の禁止、の四つを定めています。一日も早い安全な遊具の設置が求められています。

風見区議は、都バスがなくなつてかえつて区民まつりに参加しづらくなつている実態を示し、「送迎バスを運行すべき」と質問しました。また、区主催の時は四千七百万円だった予算が、ふれ文健に仕事を押し付け補助金を三千万円に減らした結果、経費削減で、送迎バスまでやめてしまつた。「区民まつりへの補助金をふやすべき」と質問しました。担当課長は、バスの廃止は「実行委員会が決めたもの」「補助金を増やす考えはない」と答弁しました。

毎年区民がたのしみに行っている行事への交通の便宜を図るのは当然です。